



Data

監督：ライアン・ジョンソン

出演：ダニエル・クレイグ／クリス・エヴァンス／アナ・デ・アルマス／ジェイミー・リー・カーティス／マイケル・シャノン／ドン・ジョンソン／トニ・コレット／キース・スタンフィールド／キャサリン・ラングフォード／ジェイデン・マーテル／クリストファー・ブラマー／K・カラソン／ノア・セガン

■ショートコメント■

◆本作冒頭、ニューヨーク市郊外にある、お城のような大邸宅が登場。今日は、その館主たるハーラン・スロンビー（クリストファー・ブラマー）の85歳の誕生日だが、家族全員が集まった祝宴の翌朝、彼は遺体で発見！これは自殺？いや、首がかつ切られていたから他殺？もしそうだとすると、犯人は一体ダレ？

ストーリーは、「念のため」と前置きして、家族全員から当日の状況の聞き取りを進める刑事の姿から始まるが、その側に名探偵ブノワ・ブラン（ダニエル・クレイグ）が座っているのがミソ。ブノワは「匿名の人物から依頼を受けて今ここにいる」と語っていたが、その依頼人とは？そしてまた、その依頼人はなぜそんな奇妙な形でブノワに何の依頼を？

◆亡くなったハーランは世界的に有名なミステリー作家。その執筆だけで莫大な財産を築いたらしい。彼の家族は、彼の本の出版を仕切る会社の代表者をはじめ多種多様だが、いずれも大なり小なりハーランの財産をあてにしていた。そのため、ハーランが死亡した今、彼らの興味の対象は彼の遺言だ。

本作の登場人物は、ハーランと名探偵ブノワを真ん中にしたチラシに写っている集合写真のとおりだから、各相続人それぞれの立場と狙い、そしてまた、その性格の善し悪し等はあなた自身の目でしっかりと！



◆本作のチラシには、「殺したのは誰だ! ? この騙し合いに世界が熱狂!! 空前絶後のハイテンション・ノンストップ・ミステリー誕生」「アガサ・クリスティーの現代版、超最高!」「楽しすぎて、脳みそが、痛い」の文字が躍り、また、「ネタバレ厳禁!」のテープが貼られて(?) いる。名探偵が登場し、さまざまな聞き取りと調査をする中で、見事な推理を働かせて、難事件を解決! そんな映画では、野暮なネタバレ評論が不要なことは明らかだ。

したがって、第92回アカデミー賞で脚本賞にノミネートされた本作におけるプロワ探偵の名推理は、あなた自身の目でしっかり確認してもらいたい。

◆私の疑問は『007』シリーズ『007 カジノ・ロワイヤル』(06年) (『シネマ14』14頁)、『007 慰めの報酬』(08年) (『シネマ22』88頁)、『007 スカイフォール』(12年) (『シネマ30』232頁)、『007 スペクター』(15年) (『シネマ37』208頁)で大ブレイクし、4月10日に公開されるシリーズ第25作の『007 ノータイトム・トゥ・ダイ』(20年)でも5回目のジェームズ・ボンド役を演じるダニエル・クレイグが、なぜスポット的に本作のプロワ役で登場したの? ということ。名探偵役を演じるについては、シャーロック・ホームズや金田一耕助のように、うまくいけばシリーズ化を最初から狙っているはず。すると、ひょっとしてダニエル・クレイグも本作でそんな狙いが・・・?

もしそうだとしたら、『007』シリーズでのジェームズ・ボンド役とは全く異質のキャラを見せる本作の名探偵プロワ役に見るダニエル・クレイグの適性度は?

2020 (令和2) 年2月27日記